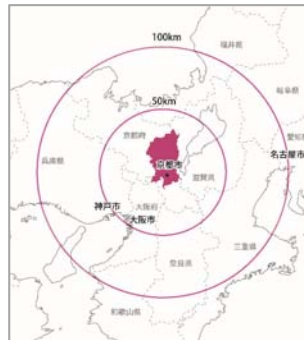


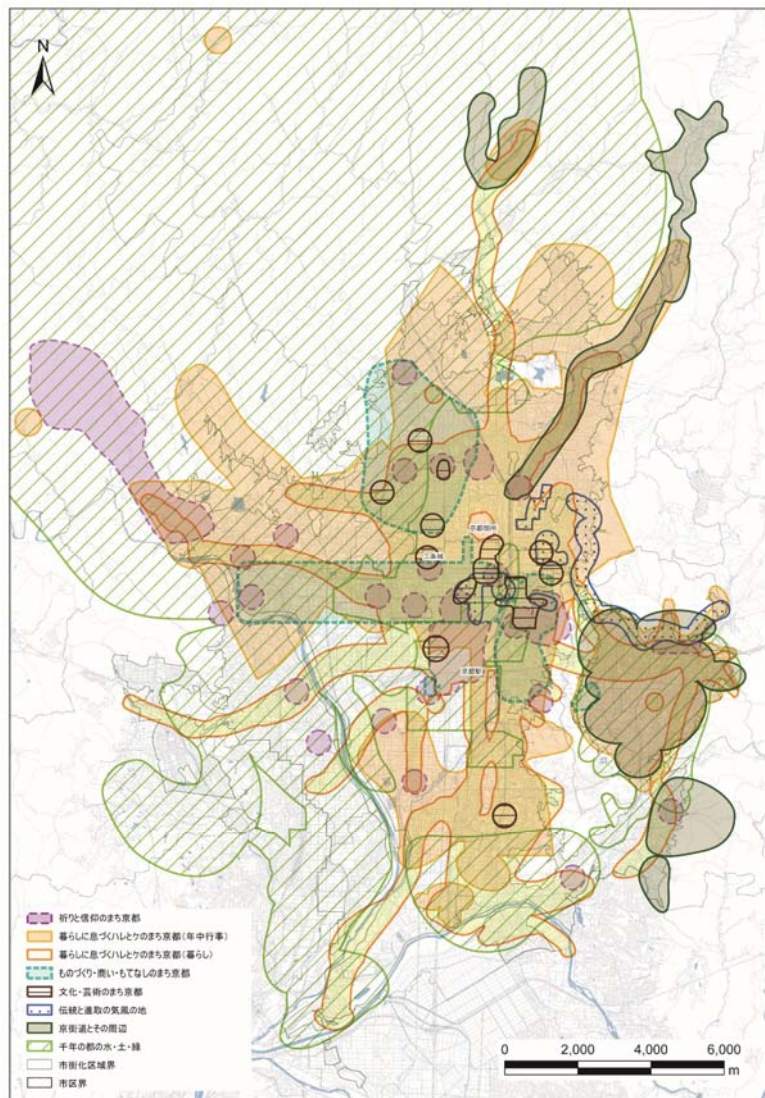
京都市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和3年度(2021)～令和12年度(2031)

京都市の維持向上すべき歴史的風致は、京都を育んだ豊かな自然と、千年をこえる首都の歴史と文化が織りなす都市空間および歴史文化遺産群、伝統を受けつぎ革新を求める人々が営む文化や行事、芸術が一体となって形成している、日本はもとより世界にも類を見ない市街地の環境です。



京都市は、市街地の三方をなだらかで豊かな山々に囲まれ、鴨川や桂川をはじめとする清流が流れる四季折々に美しい自然に恵まれています。



2期計画記載の歴史的風致の分布

文化・芸術のまち京都



能・狂言や茶の湯、生け花 美術などの文化・芸術活動、そしてそれを支える道具商や和菓子づくりなど様々な文化・芸術・創作活動が受け継がれています。

祈りと信仰のまち京都



身近な祈りの場である寺社で奉納される民俗芸能や、世界遺産をはじめとする寺社に参詣する人々とそれを迎える門前町の人々の営みが受け継がれています。

伝統と進取の気風の地



琵琶湖疏水における水辺の活動や近代の商業活動の継承など、明治以降の近代化の推進による伝統と進取の気風に培われた営みが受け継がれています。

暮らしに息づくハレとケのまち京都



四季を彩る祭礼などの年中行事や、京町家における暮らしの知恵など暮らしに息づくハレとケの営みが受け継がれています。

京の街道とその周辺



鞍馬や貴船、大原、山科盆地など京と密接に関わってきた旧街道沿いにおける、伝統に培われた祭りや日々の暮らし、生業が受け継がれています。

ものづくり・商い・もてなしのまち京都



伝統を受け継いだ焼物や織物などのものづくり、問屋、市場などにおける商い、花街における舞・踊りなどのもてなしの営みが受け継がれています。

千年の都を育む水・土・緑



周辺の山林や河川、洛西用水や洛東用水などの農業用水、これらの水により潤される農地における祭礼、山々や農地での生業が受け継がれています。

京都市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
名称：歴史的市街地地区 面積：約13,575ha

本計画における歴史的風致維持向上施設とは、本市における歴史的風致の維持向上に寄与する寺社や京町家などの歴史的建造物や、歴史的町並みを構成する道路空間などであり、重点区域においてこれを整備し、適切な管理を行うことにより、本市固有の歴史的風致の維持向上を図る。

(1)歴史的建造物の積極的な保全・活用と継承支援

市内に点在する文化財や歴史的な町並み及び建造物を保全することにより、京都の魅力、景観を維持及び向上させてきた。今後もそれらの文化財等を積極的に保全・再生し、次世代へ継承する。

- ①歴史的建造物への技術的・財政的支援
- ②伝統的建造物の防災安全性向上
- ③歴史的建築物の活用・継承支援



(2)歴史的町並みの保全・向上

京都の歴史的な町並みを形成する多くの文化財を核に、町並みに調和した道路修景や無電柱化を行い、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進する。

- ①公共空間の整備(無電柱化など)
- ②都市施設の充実
- ③良好な景観の誘導
- ④緑地空間の整備



(3)歴史的風致をとりまく周辺環境の保全・向上

新景観政策の更なる進化を図るとともに、交通環境・駐車場等整備を行い、歩いて楽しいまちを実現していくことにより、文化財や歴史的な町並み及びその周辺の景観の向上、人が主役の華やぎあるまちづくりを推進する。また、京都市の歴史・文化を支える森林景観を保全するため、三山の森林再生に取り組む。

- ①新景観政策の推進
- ②安心・安全で快適な歩行空間の創出
- ③森林景観の保全



●道路修景整備事業(重点区域内)

●歴史的町並み再生事業(歴史的風致形成建造物の修理・修景補助(重点区域内全域))

●名勝無鄰庵庭園の整備

●歴史的風致形成建造物の整備事業(京都市役所本庁舎再整備)

●「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進事業

●高瀬川再生プロジェクト

●史跡山科本願寺跡及び南殿跡における史跡公園整備事業

重点区域(2期計画)
重点区域(1期計画)

0 2,000 4,000 6,000 m

(4)地域力を活かした歴史まちづくりの取組支援

地域コミュニティを活性化し、歴史や文化等の地域の特徴を活かした住民主体のまちづくり活動を活発にする。

- ①地域住民主体の景観・歴史まちづくりの取組支援
- ②歴史都市京都における密集市街地、細街路の防災まちづくりの取組推進

(5)文化芸術・伝統産業の継承・後継者の育成

京都の優れた文化芸術や伝統産業を将来に向けて更に振興し、京都のまちを、より一層魅力に満ちた文化芸術都市にすることを目指した取組を進めている。

- ①保存と活用の社会・経済における好循環の創出
- ②担い手・支え手の確保
- ③新たなイノベーションの創出



(6)市民生活と調和した観光政策の推進

市民の安心・安全、地域文化の継承を最重要視した市民生活と観光の調和に向けて、地域や事業者と協力し、地域の実情に応じた取り組みを進める。

- ①観光客分散化等混雑対応
- ②観光客マナー向上の取組

(7)その他歴史的風致の維持及び向上に寄与する事業

- ①まちの活性化、魅力の発信
- ②国内外への京都の魅力発信

